

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料2-4
提出年月日	令和5年4月25日

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	資料全般	燃料評価の記載を見直しました。	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	資料全般	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	資料全般	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 最小保有水量 (新) 最低保有水量	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	資料全般	同上	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	3, 10	要員数の相違理由を追記しました。	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-2	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) また、原子炉格納容器スプレイ設備による原子炉格納容器除熱を実施する。 (新) また、 <u>原子炉格納容器の圧力が上昇した場合は原子炉格納容器スプレイ作動信号により、原子炉格納容器スプレイ設備による原子炉格納容器除熱を実施する。</u>	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	2	同上	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-3, 41	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 9名 (新) 11名	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	3, 58	同上	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-3	災害対策要員2名を追加しました。	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	3, 4	同上	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-6, 7, 10	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 原子炉格納容器の圧力が上昇した場合には、原子炉格納容器スプレイ設備により継続的に行う。 (新) 原子炉格納容器の圧力が上昇した場合でも、 <u>原子炉格納容器スプレイ作動信号により原子炉格納容器スプレイ設備が起動することで、原子炉格納容器除熱を継続的に行う。</u>	
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	9, 14	同上	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	20	泊が補助給水流量が少ない理由を追記しました。	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-41	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 33名 (新) 35名	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	58	同上	
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-59	概略系統図に漏えいを想定する経路を追加しました。	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	79	同上	
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-67, 68	タイムチャートを以下の通り修正しました。 ・他シーケンスで登場する燃料補給の要員を「参集要員」から常駐員である「災害対策要員」としましたので、初動要員の総数を「33」→「35」に変更しました。 ・IS-LOCA時の現場1名作業を2名で実施することに変更しました。	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	86, 87	同上	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	7.1.8-73	第7.1.8.17図を適切なグラフに修正しました。	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	92	同上	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.3-2, 5	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 加圧器水位50%以上 (新) 加圧器水位50%以上で安定又は上昇中	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.3-1, 4	同上	
25	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.6-1	概略系統図を本文に合わせる形で修正しました。	
26	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.6-1	同上	
27	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.13-4	以下の通り記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 早くなる。 (新) 早くなるが、 <u>操作手順(1次冷却材温度及び圧力(サブクール条件)を起点として操作開始)</u> に変わりはないことから、運転員等操作時間に与える影響はない。	
28	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.13-4	同上	
29	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.19-2	図1のフロー図を本文側に合わせて修正しました。	
30	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.19-2	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
31	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.19-24	記載の適正化を実施 (旧) 評価の対象外とし、個別に整理を行う。 (新) <u>GOTHIC解析</u> の評価対象外とし、個別に整理を行う。	
32	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.19-19	同上	
33	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.19-24	記載の適正化を実施 (旧) 瞬時に混合し、雰囲気温度は最大で112℃まで上昇すると仮定する。 (新) 瞬時に混合すると仮定し、雰囲気温度は最大で112℃まで上昇する。	
34	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.19-19	同上	
35	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.19-24	1ノード評価がどのようなものなのかがよりわかりやすくなるように以下のとおり記載を適正化。 (旧) 安全補機室全体を1区画として漏えいが生じる区画とその他の区画の雰囲気が瞬時に混合すると仮定した評価。 (新) 漏えいが生じる区画の高温雰囲気がダクト等を通じて漏えいが発生しないエリアに流入することを想定し、安全補機室全体を1区画として漏えいが生じる区画とその他の区画の雰囲気が瞬時に混合すると仮定した評価。	
36	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.19-19	同上	
37	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718 r.8.0)	添7.1.8.19-26	ISLOCA時に加圧器逃し弁が健全であることがよりわかりやすくなるように、以下の文言を追記。 また、ISLOCA発生時よりも原子炉格納容器内の環境が厳しくなる「7.2.1.2 格納容器過温破損」の添付資料7.2.1.2.2「全交流動力電源喪失+補助給水失敗」における原子炉冷却材圧力バウンダリから現実的な漏えいを想定した場合の事象進展について」において、加圧器逃がし弁に高温蒸気が流入する場合の影響を評価しており、当該弁及び当該弁の付属品の健全性を確認している。	
38	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.8 格納容器バイパス (SAE718-9 r.7.0)	添7.1.8.19-20	同上	